

# 米沢興讓館高校SSH通信

スーパーサイエンスハイスクール

## 2年生 理数科課題研究 口頭発表会

物理	段ボールを用いた様々な角柱の耐久性の調査 佐藤 友香、高橋 佑季、高橋 勇気、寺澤 拓真
	媒質の密度と音の要素の変化の関係についての考察 高橋 雅斗、山口 寛平、渡部 文都
	地球磁場を利用した縄跳び発電の考察 奥山 雄基、海和 雄亮、佐藤 彰、中山 智貴、渡辺 倫孝



地学	太陽フレアによるGPS及び地磁気への影響 金澤 凌平、富岡 広大、南雲政裕
----	--



化学	マスクング法及び中和法を用いた酪酸臭気の低減効果について 伊藤 望、太田かすみ、奥村 鈴音、上村 英綱、木村 匠吾、郷 朝紀、佐藤 歩、佐藤 優雅、鈴木 郁、諏訪 溪樹、中根ゆき乃
----	---



☆最優秀賞☆



## ☆生徒投票賞☆

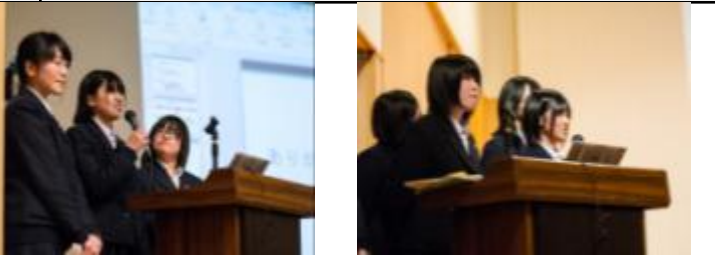
数学	巡回セールスマン問題に迫る 小平 修、鈴木 佑輔、二戸俊一郎、羽染 和貴、舟山 典希、村山 優也
----	---



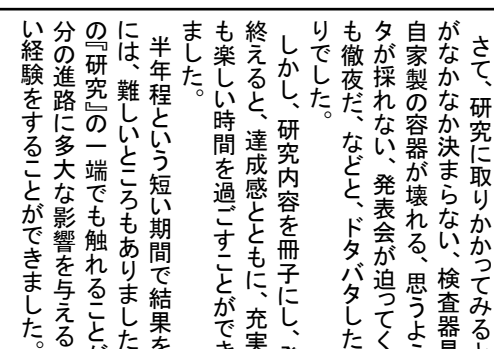
2月11日(火)

# SSH 校内生徒研究発表会

生物	ヒグラシ幼生の個体数と森林樹種・土壌pHとの関係 鹿俣 顕典
	水中の窒素循環アカムシの浄化と耐性 菅野 悠太、黒金 勇貴、齋藤 光、神保 智之
	紅葉の生態学的意義：葉の赤化は被食物としての性質に影響するか？ 門倉 真由、高世 瑞貴、八島 若奈、渡部あすか
	四つ葉のクローバーの形態的特徴及び環境要因による発生の違い 井上 奈弥、豊野 愛



家庭	ウコギ茶成分が運動時の回復に与える影響 ～興讓館発 ウコギ入りスポーツドリンクの開発を目指して～ 小椋 貴文、庄司 裕美、前山みなみ
----	--



**課題研究を振り返って**  
二年一組 山口 寛平 (米沢二中出身)

私が理数科を選択した最大の理由は、この課題研究でした。研究対象を自分たちで決められ、授業の時間も使って研究ができ、さらに発表会という場まで用意されている、なんて面白そうなんだ、とその時は思っていました。

さて、研究に取りかかってみると、テーマがなかなか決まらないう、検査器具が古い、自家製の容器が壊れる、思うようなデータが採れない、発表会が迫ってくる、今日も徹夜だ、などと、ドタバタしたことばかりでした。

しかし、研究内容を冊子にし、発表をしたら、達成感とともに、充実したとても楽しい時間を過ごすことができたと思いました。

半年程という短い期間で結果を出すことには、難しいところもありましたが、本物の『研究』の一端でも触れることができ、自分の進路に多大な影響を与える素晴らしい経験をすることができました。



研究集録誌表紙イラスト 2-1 美術部 町田亜季美

有機ELと地域産業と経済／人間社会とロボット／物質と化学／伝統野菜のサイエンスアプローチ／つながりの科学／江戸の数学を学ぶ／足もとからの科学／スポーツ・保健とライフサイエンス／社会と科学／英語発音と科学

## 1年生 異分野融合サイエンス研修 ポスター発表会

## ☆ポスター賞☆

英語発音と科学  
後藤勇哉 高橋有佳  
松尾瑠惟 吉田実花

